項目		説明
試料・情報の利用目的 及び 利用方法	研究課題名	局所進行胃癌に対する術前化学療法のレジメンとコース数を比較する無作為第 II 相臨床試験：(S1+CDDP vs S1;CDDP +Docetaxel、2 コース vs 4 コース) 「COMPASS-D 試験」付随研究：治療効果／予後を予測するバイオマーカー探索
	研究目的	COMPASS-D 試験に登録され、術前補助化学療法を受けた局所進行胃癌症例を対象とし、内視鏡生検により得られたホルマリン包埋胃癌組織より、RNA を抽出し、特定遺伝子の mRNA 量を測定することで、治療効果／予後を予測するバイオマーカーを探索する。
	研究期間	2013 年 7 月 19 日から 2019 年 12 月 31 日
利用する試料・情報の項目 （チェック[X]が入った項目を利用します）		[_] 血液　[_] だ液　[_] 臨床検査データ [×] 病理組織　[_] 排泄物（尿・便）　[_] その他 (*記載して下さい*) [_] 毛髪　[_] 診療記録
試料・情報の管理についての責任者	研究責任者	研究事務局/COMPASS-D 研究事務局：神奈川県立がんセンター 吉川　貴己 病理研究事務局：神奈川県立がんセンター　病理診断科　横瀬智之 リーズ大学　病理　Heike Grabch RNA 抽出事務局：神奈川県立がんセンター　臨床研究所　宮城洋平 RNA 測定事務局：横浜市立大学　外科治療学　大島　貴
試料・情報を利用する者の範囲	当センターでの実施診療科/部局等	神奈川県立がんセンター　吉川　貴己
	共同研究の場合、共同研究機関および各施設での研究責任者	聖マリアンナ医科大学 愛知県がんセンター愛知病院 愛知県がんセンター中央病院 大阪府立急性期・総合医療センター 広島大学病院 広島市立安佐市民病院 神戸市立医療センター中央市民病院 市立堺病院 国立病院機構大阪医療センター 横浜市立大学 神奈川県立がんセンター イギリス　リーズ大学